

令和4年度 札幌市第二かしわ学園事業計画（案）

第1 基本方針

札幌市第二かしわ学園の運営は13年目に入ります。新型コロナウイルス感染症が発生して2年が過ぎ、前年度も感染・予防の観点から活動の中止・変更を余儀なくされ、計画通りの運営を行うことが出来ませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染・予防の対策を講じながら「できること」を考え、少しずつではありますが行事や活動を再開してまいりました。そのことに利用者、家族の皆さんの理解と期待の表れからか、前年度の利用者満足度調査では総合的な満足度100%の評価をいただきました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染・予防を重点に掲げ、この状況の中でも利用者及び家族の思いを受け止め「できること」を考えながら、一人ひとりを大切にすする支援と更なる支援体制の充実を目指し、適正な管理運営と、安心して学園に通っていただけるよう努めます。そして、4期目の更新に繋げてまいります。また、学園運営が10年以上過ぎ、利用者や家族構成の年代が二極化してきており、個々のニーズが多様化しております。そのため、利用者及び家族の個々のニーズに応じた相談や支援を行います。

札幌市では、札幌市障がい者保健福祉計画の計画目標の一つとして「地域生活を支えるためのサービス提供基盤の一層の充実」を掲げ、「個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備」を基本施策の一つとしています。

札幌市第二かしわ学園は、この課題を解決するため、「作業・日常生活・文化レクリエーション活動を行うことにより、日々の生活の充実とともに、社会自立を促すこと」を設置目的（基本方針）としています。

施設の設置目的（基本方針）の成果を上げることが目標に、利用者の日常生活能力、社会生活能力、働く意欲と技術、自立能力の育成と向上に努め、利用者が充実した地域生活が送れるよう個別支援計画に基づき、きめ細やかに一人ひとりの障がい等の状況に応じた作業・日常生活・文化・レクリエーション活動の支援を提供します。そして、一人を大切にすした福祉を目指した利用者支援に努めます。

さらに、利用者や家族、地域住民の声を常に受けとめ、札幌市の公共施設として札幌市民の期待に応えられるように、共生社会を目指した透明性の高い管理運営を行います。

第2 重点事項

1 虐待防止に向けた取り組み

障がい者の支援は、職員一人ひとりに利用者の尊厳の保持と人権の擁護の姿勢がなければより良い支援につながりません。ましてや虐待は絶対にあってはならない行為です。虐待防止委員会を設置し、虐待が起こらないよう職員の虐待防止の意識向上や研修、情報提供の機会を随時設け、虐待防止責任者（学園長）の指導の下、全ての職員が利用者の尊厳の保持と人権擁護の姿勢の意識を高く持ち、虐待のない施設環境作りを目指します。

また、職員の勤務形態がそれぞれ異なるため、日々の情報提供の機会を増やすことで情報

の共有化を図り、虐待防止に努めます。

- (1) 全職員対象に、虐待防止のためのセルフチェックを行います。
- (2) 准職員を含めた常勤職員以上に、パート職員に対しても打ち合わせ等を勤務内に実施し、常勤職員同様に情報提供を行います。
- (3) 年度当初に障害者虐待防止法に関する基本的な理解や、人権尊重の意識の向上を図るため虐待防止研修を実施し、虐待防止に努めます。
- (4) 身体拘束等について適正化を図るため、指針（札幌市第二かしわ学園「安全を確保するための身体拘束」を要する利用者の支援マニュアル）を定期的に見直し整備し、職員に周知徹底していく。

2 支援体制の充実

障がいの状況は年々重度化してきており、平均障がい支援区分は5を越えています。障がいの状況が重度化している上に、年齢を重ねた利用者が少しずつ増え二極化の傾向が見られてきています。一人ひとりの状況に対応できるよう支援体制の充実に努めます。

また、利用者の人権尊重と利用者本位のサービス提供に努めるとともに、利用者・家族、並びに札幌市との連携を図り、円滑な事業運営に努めます。

3 日中活動の充実

日常生活を営む上で必要な食事、歯磨き等の身辺処理、健康管理の提供に加え、生産的・創作的な作業活動や利用者のニーズが高いレク活動、体育活動等、また外出する機会を積極的に取り入れ、「生活の張り」や「生きがい」、「余暇活動」に重点を置いた日中活動の充実に努めます。

4 定員の維持

学園の運営開始当初から課題としていた利用定員50名はほぼ達成しております。1名の新規利用者が入所予定です。しかし、新型コロナウイルス感染症により登園率が下がっているため、今後も定員の維持と利用者の登園率の向上に努めます。

5 研修体制の充実

支援サービスや職員倫理の向上を目指し、内部研修を開催するとともに外部の研修会へ積極的に参加します。

○研修別実施計画

	研修の種類	令和3年度実施実績		令和4年度実施計画	
		回数	延人数	回数	延人数
派遣 研修 内	専門研修	3	3	3	3
	資格取得研修	2	2	2	2
	階層別研修	0	0	1	1
	その他	2	2	2	2
	専門研修	5	93	6	147

部 研 修	新任研修	7	7	1	3
	施設視察	0	0	1	2
	階層別研修	3	28	3	31
	その他	0	0	2	3

6 実施事業

生活介護事業 定員50名

第3 利用状況と職員配置

1 利用者の状況（令和4年4月1日の見込み）

契約者数は56名の見込みです。

〈年齢の状況〉

年齢	18才～	20才～	30才～	40才～	50才～	60才～	合計	平均年齢
男性	3	20	5	9	4	0	41人	32.4才
女性	0	5	5	4	1	0	15人	34.9才
合計	3	25	10	13	5	0	56人	33.1才

〈障がい支援区分の状況〉

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均区分
男性	0	8	8	25	41人	5.41
女性	1	3	4	7	15人	5.13
合計	1	11	12	32	56人	5.34

2 職員配置

職名	正規職員	准職員	パート職員	合計
学園長	1			1
副学園長	1			1
主査	4			4
支援員	7	11	2.8	20.8
看護師			0.5	0.5
主事	1			1.0
運転手			1.0	1.0
合計	14	11	4.3	29.3

第4 運営方針

1 日中活動

作業活動は、コーンバーリング取り付け作業、木製玩具磨き作業、チラシの丁合作業、ウ

ニ板選別作業の各下請け作業、アルミ缶つぶし作業、単発の受注作業（チラシの配送など）、農耕、工芸品づくりを継続して行います。

また、班活動やレクリエーション活動等の園内活動や外出活動を充実し、社会的経験の機会を提供します。

さらに、健康管理、体力作りにも重点を置いた体育活動等を行います。

2 送迎サービス

送迎サービスは、ニーズの高いサービスとなっていることから、引き続き送迎車3台で6方面の送迎を行います。

3 給食提供サービス

管理栄養士のもと献立の工夫をするなど利用者の皆さんに喜んでいただける給食の提供に努めます。

なお、給食調理業務は、専門業者に委託します。

4 防災・事故防止

火災や地震を想定した定期的な避難訓練・消防訓練を実施し、防火・防災に対する利用者や職員の意識向上に努めます。また、災害時の備えについても準備や研修を行っていきます。

また、交通事故の未然防止や交通安全に対する意識の啓発を図ります。

5 適正な事務執行と省エネ対策の実施

施設運営の効率化と事務費、事業費の節約意識を啓発しながら適正な事務執行に努めます。

また、札幌市の条例に基づき省エネ対策に取り組み、節電、節水やゴミの減量などを進め、環境に配慮した施設管理を行います。

6 家族との連携について

利用者の多くが自宅から通所しており、家族との連携・連絡はより良い利用者支援の大切な要素です。家族と利用者支援の共通基盤にたち、日々の連絡帳や懇談会、毎月の学園通信などをおして施設の状況などの情報発信をきめ細かく行い、より信頼関係が深いものになるよう努めます。

7 グループホームとの連携について

利用者の方でグループホームを利用している方がおり、施設の状況などの情報を共有しながらグループホームの支援員や関係機関との連携・連絡を図り、利用者が安心して通所ができる環境作りに努めます。

8 実習生の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の関係により調整が必要な場面があると思われませんが、大学や専門学校で福祉を学ぶ学生や、教員を目指す学生を中心に、社会福祉援助技術現場実習、介

護等体験実習、社会教育・福祉教育体験実習等を受け入れます。

実習生が、職員の援助で直接介護にあたることは、障がい者理解を促し、支援のあり方について学ぶ機会であるため、適切な助言に努め、福祉人材の育成を図ります。

また、養護学校等の在校生の現場実習についても進路を決める大事な経験となるため、受け入れを行っていきます。

9 ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染症の関係により調整が必要な場面があると思われませんが、施設に対する理解と地域との交流を促進するため、地域のボランティア団体、利用者家族、学生等の各種ボランティアを受け入れます。

施設としても、近隣地域へのボランティア活動や自治会活動へ参加出来るよう計画します。

10 苦情解決

利用者や市民からの苦情や要望等に適切に対処するため、苦情解決責任者（学園長）及び苦情受付担当者（副学園長）を配置するとともに第三者委員を置き、迅速かつ適切に対応します。

1.1 感染症対策

利用者、職員の体調管理及び建物等の消毒、換気を行い、感染予防の取り組みに努めます。



私立第二かしわ学園 予算実行計画書(令和4年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収入													
自立支援費	11,361	10,794	12,497	11,361	12,497	11,929	11,361	11,361	11,361	10,794	10,794	12,497	138,607
特定費用	279	251	293	279	293	279	285	251	265	285	251	293	3,264
利用者等外	520	468	546	520	546	520	494	468	494	494	468	546	608
雑収入													
金	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
生産品													
引当金													
引当金													
引当金													
引当金													
収入合計	11,722	12,847	12,875	11,722	12,875	12,290	11,705	11,689	11,705	11,138	11,122	12,875	144,365
人件費	7,346	10,521	13,176	7,346	7,345	7,524	7,345	7,447	13,747	7,575	7,754	7,575	105,000
職員俸給	3,233	3,233	3,232	3,232	3,232	3,232	3,232	3,232	3,232	3,232	3,232	3,232	38,808
職員手当	452	452	452	452	452	452	452	452	452	452	452	452	5,385
職員賞与	1,934	1,934	5,036						5,385				12,355
賞与	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	2,619	31,428
非常勤職員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
退職共済掛金	113	1,181	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	2,424
法定福利費	919	1,092	1,713	919	919	1,098	919	1,098	1,713	919	1,098	919	13,326
事務費	690,000	691,000	714,500	693,000	692,000	754,000	1,203,500	865,000	894,500	908,000	922,500	1,020,300	10,008
福利厚生費	5,000	15,000	5,000	5,000	5,000	5,000	89,000	124,000	115,000	16,000	5,000	5,000	394
職員旅費	0.5	14.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	20
旅費交通費			10			10							30
研修研究費						95		95		50			260
事務消耗品	25	30	30	30	30	30	30	30	30	30	35	35	150
印刷費	25	25	25	25	25	25	34	25	25	25	25	25	309
雑費			27.5		45.0		45.0		27.5		27.5	27.5	200
運賃運料費	52	52	52	60	52	52	52	52	52	52	60	52	640
会議費	4		18					4					30
広報費	80	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	850
委託委託費	457.5	457.5	457.5	457.5	457.5	457.5	698.5	457.5	567.5	667.5	667.5	567.5	6,371
手数料	30	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	332
保守料	11					77	83						228
相談公費													
渉外費			10.0				10.0	10.0	10.0	10.0			24
福袋費													50
雑費													120.00
雑費													0
雑費	1,251	1,039	1,867	966	1,190	962	1,166	1,153	1,182	1,182	1,299	1,567.9	14,835.0
給食費	279	251	293	279	293	279	265	251	265	265	251	294	3,265
保健衛生費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	413
被服費	0.5	4.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	10
教養娯楽費	7,000	68,500	57,000	21,980	42,370	47,500	138,000	136,600	2,000	38,400	33,050	28	620
日用品費	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
水道光熱費	360	160	270	180	370	170	260	250	430	380	520	320	3,670
消耗品	40	60	19			18		30		15		18	200
保険料	60		743			1							804
賃借料	316.0	296.6	296.4	296.4	296.4	296.4	296.4	296.4	296.4	296.4	296.4	297	3,577
委託料	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	41	360
車両費	118.0	128.0	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	128.0	118	1,436
雑費													0
その他支出	31	28	33	31	33	31	30	28	30	30	28	33	363
利用金等外給戻金	31.0	27.9	32.5	31.0	32.5	31.0	29.5	28.2	29.5	29.5	27.9	32.5	363
支出合計	9,318	12,279	15,790	9,005	9,250	9,291	9,744	9,793	15,953	9,696	10,003	10,186	130,206
収支差額	2,405	368	-2,915	2,717	3,625	2,999	1,962	1,896	-4,148	1,443	1,119	2,689	14,159

単位:千円